

Koga International Friendship Association 古河市国際交流協会 会報



第6号:2011年11月30日発行
発行:古河市国際交流協会
編集:同 広 報 部 会

守谷市国際交流研修センター（ログハウス）前で記念撮影
9月4日、前列中央左は古河市国際交流協会・上本紘一会長、右は守谷市同・小川一成会長。

多彩な事業展開—第4回定期総会



定期総会であいさつする上本会長

古河市国際交流協会の第4回定期総会が5月15日、中央公民館で開かれ、前年度事業報告などを承認した後、新年度事業計画、収支予算案を可決、新年度役員を選

出して閉会した。小竹久市企画調整部長が来賓祝辞。法人会員の愛和会・森誠、三和みつなみ会・並木寛、両理事長、ゴウダ(株)・渡辺勝夫部長、高橋芝園土木・高橋正、

社長のほか、古河東RC・高橋采子会長、富田製作所・役員、宇都木誠一郎の各氏が紹介された。

協会の活動費に「わたらせ経営者漁火会」から20万円を寄付された森誠代表に対し、上本会長から感謝状が贈られた。



森 誠氏(左)へ感謝状贈呈



守谷市方面視察研修について 古河市国際交流協会

会長 上 本 紘 一

文化交流部会・総務部会共催による視察研修が9月4日開催されました。天候にも恵まれて多くの会員のご参加をいただき、両部会長のお骨折りにより成功裏に行われたことに、心より感謝を申し上げます。

あらかじめ守谷市国際交流協会に、質問や疑問点等が用意してあったので、昼食をはさんで3時間にわたる歓談も和やかな雰囲気の中で相互に意見交換が活発になされたのは、素晴らしい設定であったと思いま

す。又、守谷市国際交流協会小川一成会長さんの国際交流の取り組みに対する前向きな考え方に、役員の皆様が賛同し積極的に活動されている姿には、感動を覚えたことでした。

守谷市と古河市では、条件や生い立ち・環境が異なっても参考になるところはたくさんありました。昨年は日光市国際交流協会、一昨年は足利市国際交流協会・栃木市国際交流協会、川越市国際交流協会と研修が行われました。

貴重な研修を通じて多方面から検討をして古河市独自の国際交流を企画実施し、地域社会に貢献することが大切なことであると思うところであります。

会員の皆さんには日頃より大変なご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

第2回古河市中学生英語圏派遣事業

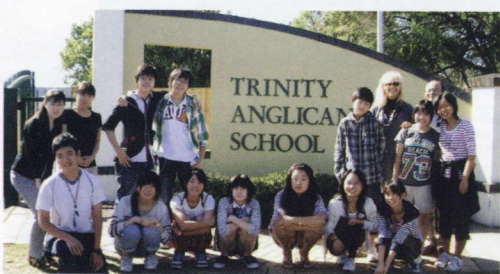
～異文化体験、コミュニケーションも活発に～



出発式で白戸伸久市長から励ましを受ける中学生ら。
右は上本国際交流協会長



浴衣姿で。英語圏 TAS 修了式・フェアウェルパーティー



トリニティ・アングリカン・スクール正門



ESL クラス

古河市は昨年に続き、2 回目の中学生英語圏派遣事業（オーストラリア・ケアンズ市・8 月 17 日～24 日）を行いました。3 月 11 日の東日本大震災という未曾有の災害で、直後は先の見えない状況でしたが、昨年より縮小した形で、4 月より急ピッチで事業が進められ、5 回の委員会を行い委員の方達には、生徒募集から面接、ホームステイ中のプログラムに至るまで協議をしていただきました。また、参加型学習ファシリテーターの佐藤宏幸さんによる事前事後研修を計 7 回行ない、生徒や保護者、協会員、昨年の派遣生徒も参加し、素晴らしい研修内容でした。

今年は、市内 9 中学校の 2・3 年生 12 名（男 4 名・女 8 名）、協会

員 2 名、市職員 1 名の計 15 名が参加しました。生徒が通った TAS（トリニティ・アングリカンスクール）は幼稚園から高校までの私立学校。とても広大な土地を持ち、山々に囲まれていました。TAS の大きなプールは、以前、イアン・ソープ選手が練習用に使ったことがあるそうです。TAS の生徒はグリーンとホワイトカラーの制服を着用し、白人や先住民のアボリジニ人、黒人、そして日本から来た留学生も数名見かけました。

生徒たちは初め、「何を言っているのか聞き取れない」と、英語を話すことがとても消極的でしたが、帰国間際には、積極的にバディやホストファミリーに声をかけ、帰国を残念に思う生徒がほとんどでした。帰りの飛行機では、「次回は留学し、もっと英語の勉強がしたい」といった生徒の声が聞こえました。古河市の将来を担う中学生が着実に国際人として育てている証ではないでしょうか。今後もこの事業が継続して行われることを願います。

（第 2 回中学生英語圏派遣事業
随行員 齊藤 由美子）

ジャガイも掘り楽しく

7 月 10 日、「ジャガイも掘り大会」が、上片田の「森ファーム・里山の森ぽっぽ」で開かれ、家族連れを交え、130 人が参加。ジャガバターやフライド・ポテトに舌つづみ。中国女性のコーラスも樹間にこだました。



コーラスも樹間にこだまして



ジャガイも掘りを終え、「森ファーム・里山の森ぽっぽ」で記念撮影

日本語・古河教室(昼の部) 9月28日(水)野外学習



「埼玉県防災学習センター」へ行き。様々な防災体験をしてきました。

日本語・古河教室(夜の部) 7月3日(日)研修旅行



江戸東京博物館・東京スカイツリー・浅草寺・雷門などを研修。

守谷市の国際交流協会を視察

設立22年、拠点はログハウス。『世界を知ろう』各国大使の講演会

9月4日(日)、文化交流・総務両部会の共同企画で行われた県南の守谷市国際交流協会の視察・研修には、会員、事務局員を含め、33人が参加。昼食を交え、約3時間の質疑応答は真剣そのものでした。

会場の「ログハウス」は工業団地に進出した企業から1990年11月、国際交流の活動拠点にと、市に寄贈されたもので、100人収容の大ホールや小ホール、和室、事務室が完備。大ホールの正面に会のロゴ・マーク「Mifa」の会旗を掲げ、上部に「世界を知ろう」講演会で訪れた各国大使の写真が掲げられ壮観だった。

小川一成守谷市国際交流協会会長は「古河は歴史のある街」とした後、一昨年、協会設立20周年を迎えた守谷市について、「若いマチ。秋葉原まで電車で32分。毎月、60~70人が増え、全国から集まる。国際交流は市民交流」と述べた。上本紘一古河市国際交流協会会長は「平成17年に次いで二度目の訪問。古河市には2300人の外国人が住み、協会は5専門部会が活動しているが、先輩格の守谷市に見習い、古河市に見合った独自の事業を拡充していくべく、きょうはしっかり研修したい」とあいさつ。



歓迎のあいさつを述べる守谷市・小川会長。左は古河市・上本会長

活動は、7つの専門委員会。①総務②都市交流一筑波大留学生のホームステイ、独一マインブルク、米グリーリー市との姉妹交流③語学研修④広報⑤ログハウス「世界を知る」大使講演会⑥青年交流一途上国の青少年支援⑦日本語講座一講師の研修会も。年間を通し多彩な活動。

市の人口、約6万3千人、交流協会員400人。協会の年間予算410万円(市助成200万円)

昨年10月には、マインブルク市民が来市、姉妹締結20周年記念式を行い、都内見学も。



守谷市国際交流研修センター
100人収容の大ホール、小ホールも



視察研修する古河市国際交流協会会員(左)



国際交流のPRに活躍した皆さん

古河関東ド・マンナカ祭り 国際交流で活躍

10月8・9の2日間開催された「古河関東ド・マンナカ祭り」に、古河市国際交流協会も協賛。文化交流部会を中心に、テントに出店、国際交流をPRした。アンケート400人。王清さんら8人がモンゴル舞踊、ローザ・ムラタさんら4人がフィリピンダンスをステージで披露、拍手を浴びた。



モンゴルの踊りを舞った王清さんを囲んで、左は上本会長、右は杉森文化交流部会長



モンゴル舞踊のフィナーレ



語学交流部会は、写真で活動をPR



アンケートで配るスポンジの動物の袋詰め(スポンジは会員提供)

日本語・総和教室

「七 夕」



短冊に願い事を書いて！
かなうといいな？一人で何枚も書いた人もいたよ。

三和日本語ボランティア教室

10月2日(日) バス研修旅行

埼玉県行田市



タイムスリップをしたかのようにドラマ「仁」の世界を体感…
忍城址にて、
姫や家老達とパチリ♪♪

英語弁論大会

助川さん(総和中3年)が入賞



英語弁論で熱弁を振った助川さん。

10月12日に水戸市で開かれた「高円宮杯第63回全日本中学校英語弁論大会」(県教委、県教育研究会、読売新聞社主催)で、助川貴子さん(総和中3年)が読売新聞社水戸支局長賞に輝いた。(同賞は7人が受賞)。

助川さんは8月に行われた古河市の「中学生英語圏派遣事業」にも参加、積極的に異文化を体験した。

「緊張していましたが、自分の思いを伝えることができて良かったと思っています。また、たくさんの人々の意見を発表を通して聞けたことも自分にとってプラスになりました。」と話す。

アンドレイさんが
レベルN2(旧2級)に合格

日本語古河教室(夜の部)に学ぶコバヤシ・アンドレイさん(32歳・ロシア出身)が、7月3日に茨城大学で行われた日本語能力試験のレベルN2(旧2級)に合格しました。

アンドレイさんは昨年12月、日本語スピーチコンテストで筑西市教育長賞を受賞しています。

臨時総会開く 7月31日

7月31日、協会の臨時総会が開かれ、①23年度追加事業計画案 ②補正予算案③一部規約改正案が提案され、原案通り可決承認されました。また、23年度英語圏派遣事業が認定されました。補正予算案は、国際化対応事務事業として職員一名を雇用する案件。

平成23年度事業

1. 運営委員会の開催
2. ホームページの管理
3. 中学生英語圏派遣事業
8月17日～8月24日(古河市委託事業)
オーストラリア・ケアンズ市

専門部会

(1) 総務部会

- ・各専門部会間の連絡調整
- ・事務局との連絡調整
- ・会費の徴収、会員の管理等
- ・視察研修…9月4日(日)
(守谷市国際交流協会)
- ・ミニイベント

(2) 文化交流部会

- ・じゃがいも掘り大会
7月10日(日)森ファーム
- ・視察研修…9月4日(日)
(守谷市国際交流協会)
- ・関東ド・マンナ祭り
10月8日(土)～9日(日)
- ・ウィンターフェスティバル2011
12月11日(日) とねミドリ館

(3) 語学交流部会

- ・日本語教室実施(4教室)
- ・市内研修、市外研修旅行実施
- ・第22回外国人日本語スピーチコンテスト参加
- ・4教室交流会

(4) 生活支援部会

- ・外国人のための生活相談(臨時)
- ・医療ボランティアの充実
- ・外国人医療協力者リストの充実及び外国人への広報
- ・外国語(他言語)ボランティア通訳者の募集及び実用化

(5) 広報部会

- 在在外国人や協会に対し、必要な情報提供等を行う。
- ・広報誌の発行(前・後期、年2回)
- ・ウィンターフェスティバルのポスター、パンフレット等の作成
- ・イベントの取材・写真撮影

◆法人会員◆

- ・金澤工業(株)
- ・中央工業(株)
- ・新世紀事業協同組合
- ・(株)影山倉庫
- ・(株)やすらぎ
- ・(株)富田製作所
- ・社会福祉法人三和みつなみ会
みどりの里
- ・(株)高橋芝園土木
- ・ヤマザキナビスコ(株)
- ・エイ・アイ・エス(株)
- ・ゴウダ(株)

- ・医療法人社団友志会・花の舎病院
- ・(株)岡本工務店
- ・社会福祉法人 愛和会
- ・ネットトヨタつくば(株)
- ・東洋プリンティング(株)
- ・社会福祉法人 芳香会
- ・(株)丸 満

◆賛助会員◆

- ・古河ロータリークラブ
- ・境ロータリークラブ
- ・古河東ロータリークラブ
- ・古河中央ロータリークラブ
- ・宇都木 誠一郎

HP管理部からのお知らせ

協会に対するみなさまからのご提案、ご意見を随時受付けております。

下記メールアドレスへお知らせ下さい。

kogashi_kokusaikouryu@yahoo.co.jp

Winter Festival 2011

Winter Festival 2010

入場無料(FREE)

12月11日(SUN)

受付 10:00～ 開会 10:30～ 閉会 15:00

とねミドリ館 (古河市生涯学習センター)

古河市前林 1953-1 TEL 0280-92-4000

外国語の方による日本語スピーチ

平成23年度 古河市国際交流協会 役員

顧問	波多野 裕 造	文化交流副会長	海 原 三 枝
会長	上 本 紘 一	語学交流部会長	阿 見 佐智子
副会長	長 山 腰 す い	語学交流副会長	岡 田 茂
副会長	長 池 田 勲	生活支援部会長	勝 部 正 紀
副会長	計 関 啓 子	生活支援副会長	斉 藤 俊 雄
副会長	計 木 村 直 子	広報部会長	小 沢 和 夫
総務部会長	佐 藤 美 紀	広報副会長	浅 野 征 吾
総務副会長	角 幡 雅 裕	会計監査増田	マサエ
文化交流部会長	杉 森 皎 二	会計監査板井	常 代

4. ワールドキャラバン
5. 外国語教室(英語・中国語)
6. 視察研修 守谷市国際交流協会
(9月4日)
7. ウィンター・フェスティバル開催
(12月11日)

古河市国際交流協会では

会員を募集しています

申込書に記入の上、会費を添えて会員または事務局へ

個人会員 1,000円(学生・生徒500円)

法人会員 -□ 5,000円

賛助会員 -□ 5,000円

《お問合せ先》 古河市国際交流協会

事務局 古河市役所(総和庁舎)

企画調整部企画課内

住 所 古河市下大野 2248

電 話 0280-92-3111 (内線 2126)

F A X 0280-92-7633

http://kogashikokusaikouryu.web.fc2.com/